

事業名 妊活さんのココロをほぐす座談会「妊活カフェ」
 団体名 妊活さんのココロをほぐす会

様式第2 (第8条関係)

事業計画書①

(つつじ補助金・くすのき補助金)

事業の区分 (該当する事業をチェック☑)	(1)保健、医療又は福祉の増進を図る事業	<input checked="" type="checkbox"/>	(11)国際協力を行う事業	<input type="checkbox"/>	
	(2)社会教育の推進を図る事業	<input type="checkbox"/>	(12)男女共同参画社会の形成の促進を図る事業	<input checked="" type="checkbox"/>	
	(3)まちづくりの推進を図る事業	<input type="checkbox"/>	(13)子どもの健全育成を図る事業	<input checked="" type="checkbox"/>	
	(4)観光の振興を図る事業	<input type="checkbox"/>	(14)情報化社会の発展を図る事業	<input type="checkbox"/>	
	(5)農山漁村又は中山間地域の振興を図る事業	<input type="checkbox"/>	(15)科学技術の振興を図る事業	<input type="checkbox"/>	
	(6)学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業	<input type="checkbox"/>	(16)経済活動の活性化を図る事業	<input type="checkbox"/>	
	(7)環境の保全を図る事業	<input type="checkbox"/>	(17)職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援を行う事業	<input type="checkbox"/>	
	(8)災害救援事業	<input type="checkbox"/>	(18)消費者の保護を図る事業	<input type="checkbox"/>	
	(9)地域安全事業	<input type="checkbox"/>	(19)公益的社会貢献活動団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助を行う事業	<input type="checkbox"/>	
	(10)人権の擁護又は平和の推進を図る事業	<input type="checkbox"/>	(20)前各号に掲げる事業に準ずる活動として愛知県条例で定める事業	<input type="checkbox"/>	
①現状把握・分析 事業目的 事業実施の理由、地域課題の解決につながる事業の目的 必要性	<p>2024年における日本の不妊状況は、厚生労働省によると、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不妊の検査や治療を受けたことがある夫婦は、夫婦全体の4.4組に1組(22.7%) ・不妊を心配したことがある夫婦の割合は、夫婦全体の2.6組に1組(39.2%)とされている。不妊治療においては、2022年4月の保険適用で経済的な負担は軽減されつつあるが、上記の統計のことから、過去に比べても不妊で悩んでいる夫婦は増加しており、当事者の精神的負担は軽減されていないとみられる。だからこそ、私たちの活動は不妊、流産で精神的負担のある妊活当事者が気軽に相談でき、経験者として寄り添うサポートを継続することで、当事者同士の交流のきっかけになる。また、幅広い世代の市民への理解や、「子育てしやすいまち豊橋」へ貢献できると考えている。 				
実効性	②事業の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が前向きに妊活に臨んでいけるよう、妊活における悩みを話し、情報の共有ができる座談会を定期的で開催する <p>参加見込み：10名×9回 会場：地域の公民館・市民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知活動としての地域へのイベント出店 ・妊活の当事者及び周りへの理解や座談会周知活動の一環として専門講師を招致しての講演会を開催する(2月ごろ開催予定) 			
	③スケジュール 実施予定期間の始期から終期まで	実施予定期間	令和7年6月1日から令和8年3月31日まで		
		予定日	予定内容	予定会場	参加者数見込
	4月	チラシ・ポスター制作	会員宅	10名×9回	
	5月	予行練習・ミーティング	公民館・市民館		
	6~3月	座談会開催(8月除く)			
	2月	からだと心の講演会(仮)	カリオンビル会議室	50人	
④実施体制 (実施メンバー)	妊活さんのココロをほぐす会会員				

様式第2 (第8条関係)

事業計画書②

(つつじ補助金・くすのき補助金)

<p>⑤この事業が公共の利益に寄与すると考える理由とこの事業を実施することでの市民(地域)への波及効果</p> <p>公益性・実効性</p>	<p>現社会において、不妊・不育の問題は「単に赤ちゃんができない」「夫婦だけ」「医療機関だけ」で片づけられるものではない。妊活当事者が、精神的悩みを解放して生きやすくなることは、妊娠率の増加・離婚率の低下、そして女性の自立に寄与すると考えている。私たちが経験者としての立場と中立的な立場を持って活動することで、市民や地域からの理解も得られやすくなり、妊活当事者が住みやすく、前向きに妊活に取り組める豊橋市になると考えている。また、「子育てしやすいまち豊橋」への貢献もできると考える。</p>
<p>⑥この事業実施後の今後の活動について</p> <p>継続性</p>	<p>妊活当事者がより気軽に相談できる場所や身近な窓口を増やすため、サポートメンバーや妊活カフェの開催場所や日数の増加を図っていくように活動する。</p> <p>また、サポートメンバーに求められる、一般的な不妊に関する知識や、医療機関の情報、傾聴スキルアップを各自取り組むと共に、妊活に特化している事業者や医療機関との連携を図ることで、より安心して頼れる場所を構築していく。</p>

(くすのき補助金)

<p>⑦この事業の創造的又は開拓的である部分</p> <p>先駆性</p> <p>⑧この事業で団体の持つ専門性が生かされている部分</p> <p>専門性</p>	<p>妊活当事者が、孤独・孤立しないを目的とした「座談会」形式で取り組んでいる。会員自身が妊活経験者であり、当時の妊娠への焦りや不安を孤独と感じながらもサポートをしてもらえる場所がなかったことを体験し、その経験から妊娠を希望する上で身体的治療のほかに、精神的なサポートは非常に重要と感じている。悩みは多岐にわたるので、専門的な医療機関のみならず、より日常で身近に寄り添い、お茶を飲みながら気軽に相談できる場所の存在は妊活当事者の共感を得やすく、前向きな姿勢に繋がり、地域の出生率向上や少子化問題にも貢献することができる。</p>
--	--

備考 内容の記載は簡潔にお願いします。なお、必要に応じて各項目の枠を広げて使用できます。